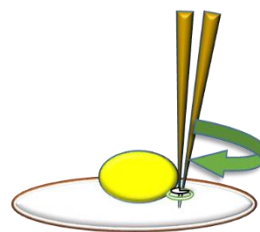


Web版

地協ニュース

ときたまご

令和4年6月27日（月）号
山形市教育委員会 社会教育青少年課発行



一期一会 ～多くの方々との出会い～

一期一会。学校運営協議会委員との出会い、地域学校協働活動（以下地協）推進員との出会い、実に深みのあるの方々との出会いがありました。活動説明会（コロナ禍で電話の時もありましたが）で地協推進員と直接お話する中、これまでの人生でもうかがうこともありました。私たちはそのエネルギーに、活力をいただくことも度々でした。また、地協に対するアプローチの仕方は、地協推進員それぞれです。コミュニティ・スクール（以下CS）委員は基本2年任期（再任は可能）ですが、残念ながら1年で交代される方もいらっしゃいます。各校ともこの出会いを大切に、交代される委員の方々も引き続き、学校や地域のために尽力していただければ幸いです。

満を持して ～山形市立商業高等学校の学校運営協議会立ち上げ～

6月15日（水）第1回の学校運営協議会が開かれました。この日まで山形市立商業高等学校は緻密で様々な準備を行ってきたようです。まず、運営計画を小林勝喜校長先生が電子黒板、タブレットを使って熱く語りました。「高校を起点とした町づくり」や「高校こそ地域づくりの本丸」ということ、委員の方々には「辛口の応援団」としてご意見をいただ

導入理由		
県内唯一の市立高校	地域社会との連携・協働	地域社会のニーズに応える学校づくり
地方創生地域貢献	地域とともにある学校づくり	地教行法の一部改正（努力義務化）
「社会に関わられた教育課程」の実現	高大連携 高専連携	地域社会・保護者等の支援の必要性

きたいこと、そして「日本一の商業高校をめざす！」というスローガンを具体的に説明しました。学校経営方針について委員の方々の意見が活発で深まっていき、相当に質の高い会議でした。まさに「熟議」のレベルで進んでいました。「日本一」の必要性や具体性など、委員の方々がそれぞれの立場で鋭い意見を出し合いました。そして承認となりました。次に話し合われた「社会に関わられた教育課程」の推進、教職員の資質・能力の向



上については、委員の方々から様々なアイデアが出されました。うちの会社ではこのような研修が可能だということ、先生方の研修にはこのような協力ができるということなど、当事者として意見をおっしゃっていました。

三つのキーワード「with」、「idea」、「do」が全て盛り込まれた質の高い第1回学校運営協議会に、オブザーバーとして参加した私たちは感服しました。ちなみに「with」は「学校と共にという姿勢」、「idea」は「自分の立場からアイデアを」、「do」は「何ができるか考え、可能な範囲で実行する」です。これまで出席させていただいた学校運営協議会で学んだ、優れた話し合いの三つのキーワードです。

校長先生がおっしゃっていた、まさに「辛口の応援団」という委員の方々でした。数値目標が必要なこととそうでないこと、会議における名称の統一、今後の山商生に期待することなど辛口の中に深い愛情を感じた次第です。10月に予定された第2回がさらに期待されます。最後に委員の方も含め、私たちまで新校舎を案内していただきました。

勉強になります ~CS 立ち上げ校等への訪問~

感染症対策を十分にとった上で学校運営協議会が開催され、CS の立ち上げが急速に進んでいます。第1回の学校、または要請があった学校には訪問して説明のプレゼンを行っています。6月13日(月)は七中、24日(金)は西小、28日(火)は千歳小と金井小、29日(水)は十小、7月4日(月)は滝山小、6日(水)は南沼原小、12日(火)は明治小、14日(木)は五中へ訪問予定です。それぞれの学校に工夫が見られ、とても勉強になります。校長先生の熱いプレゼンだったり、次回まで地協推進員の候補者を考えてきたり、テーマを設けた「熟議」を行ったりしていました。この制度をうまく利用する姿勢がうかがわれます。大変忙しい学校現場ですが、「急がば回れ」とも教えていただいたような気がします。

今年度で市内全ての小中学校がCS となります。これから立ち上げていく学校は様々な準備を行っているようです。悩みや相談はぜひ社会教育青少年課の担当へご連絡ください。第1回会議の内容はCS の理解、会長と副会長の決定、学校運営方針の承認、年間の会議計画などです。

ところで、地協ニュースのニューキャラクターの「ときたまクン」と「ときたまちゃん」です。よろしくお願ひします。

